

2022年4月21日

tenso 株式会社

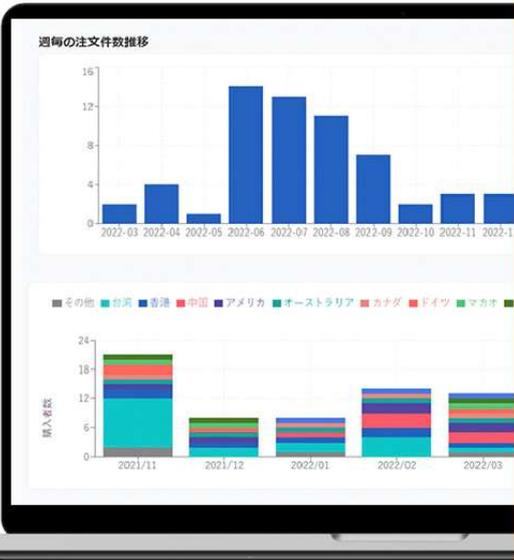
越境 EC No.1 の「Buyee」が 購買データを見える化する「ダッシュボード機能」を提供開始 ～ 海外販売の伸長に必要なデータをオールインワンで提供 ～

BEENOS 株式会社(東証プライム:3328)の連結子会社で、越境 EC 流通総額 No.1(※1)の海外向け購入サポートサービス「Buyee(バイイー)」を運営する tenso 株式会社(以下「tenso」)は、「Buyee」およびタグ設置のみで海外販売可能な「Buyee Connect」連携企業の海外マーケティング支援を目的として、「ダッシュボード機能」の提供を 2022 年 4 月より開始しました。本機能により、海外ユーザーのデモグラフィックおよび購買データをリアルタイムで可視化、売上や注文件数、注文単価などの推移も確認できるようになり、これを用いたデータ分析によって、最適な海外向けマーケティングやプロモーション策定が可能となります。

■Buyee Connect の紹介: URL <https://beecruise.co.jp/infra/buyeeconnect/>

ダッシュボード機能

NEW



越境ECマーケティングに
必要なデータを
オールインワンで提供



1) 新機能提供の背景

BEENOS グループでは、海外向けプロモーション設計や KOL 活用、海外向け広告/SNS 運用、現地イベント開催など、越境 EC 導入後の流通の伸長を支援するプロモーションを日本企業に向けて提供してきました。

2021 年の世界の越境 B2C 電子商取引市場規模は 7,657 億 3,000 万米ドルで、2022 年から 2030 年までで年平均成長率(CAGR)26.2%で成長すると見込まれています。(※2)成長著しい巨大な世界市場に向けた越境 EC では、リアルタイムな購買データから見える自社商品の海外需要の把握と、その分析によるエリア・言語・時節に特化したプロモーションが求められます。そこで、tenso は日本企業の最適な海外向けマーケティングやプロモーションに活用いただくべく、越境 EC の購買データを見える化する「ダッシュボード機能」の提供を開始しました。

また、機能開発にあたって、「Buyee Connect」導入企業の要望を反映して、従来は月次で提供していた購買データをリアルタイムで確認できるようにしました。これまで該当データを月次でご利用いただいていた企業が

らは、「アクセスはあったが、購入に至っていなかったお客様が購入してくれるようになったことが数値でもわかり、データを元に設計したプロモーションの効果を実感しています。」という声をいただいています。

2) 「ダッシュボード機能」の紹介

1. 海外ユーザーのデモグラフィック/購買データをリアルタイムでエクスポート可能

自社 EC サイトにおける「Buyee Connect」経由の海外ユーザーからの注文情報をリアルタイムでエクスポートできるようになります。これにより、「どんなお客様がどのエリアからこういった言語を使用して、何の商品を買っているのか？」が可視化され、自社商品の海外需要を掴むことができます。

<閲覧可能な項目>

- ・デモグラフィック: ユーザー区分(新規利用者/既存利用者)、登録国、選択言語、性別、年齢
- ・購買データ: 購入日、購入商品名、購入数量、購入金額

※Buyee 発行のパラメータ経由有無のエクスポートも可能

2. 売上や注文件数、注文単価などの推移も週次で確認可能

週次、月次での売上や注文件数、注文単価などの推移グラフもいつでも確認できるようになります。これにより、国ごとの購買タイミングの違いや年間での需要の変化の把握、自社のプロモーションやキャンペーンの効果検証が可能となります。

<閲覧可能な項目>

- ・売上推移(全体/国別)
- ・注文件数推移
- ・注文単価
- ・購入者数推移(全体/国別/性別/年代/新規・既存)

※「ダッシュボード機能」はオプションでご利用いただけます。

「ダッシュボード機能」で閲覧可能な海外販売データのイメージ



【本件に関するお問い合わせ先】

BEENOS 株式会社 広報

Tel: 03-5739-3350

Email: pr@beenos.com

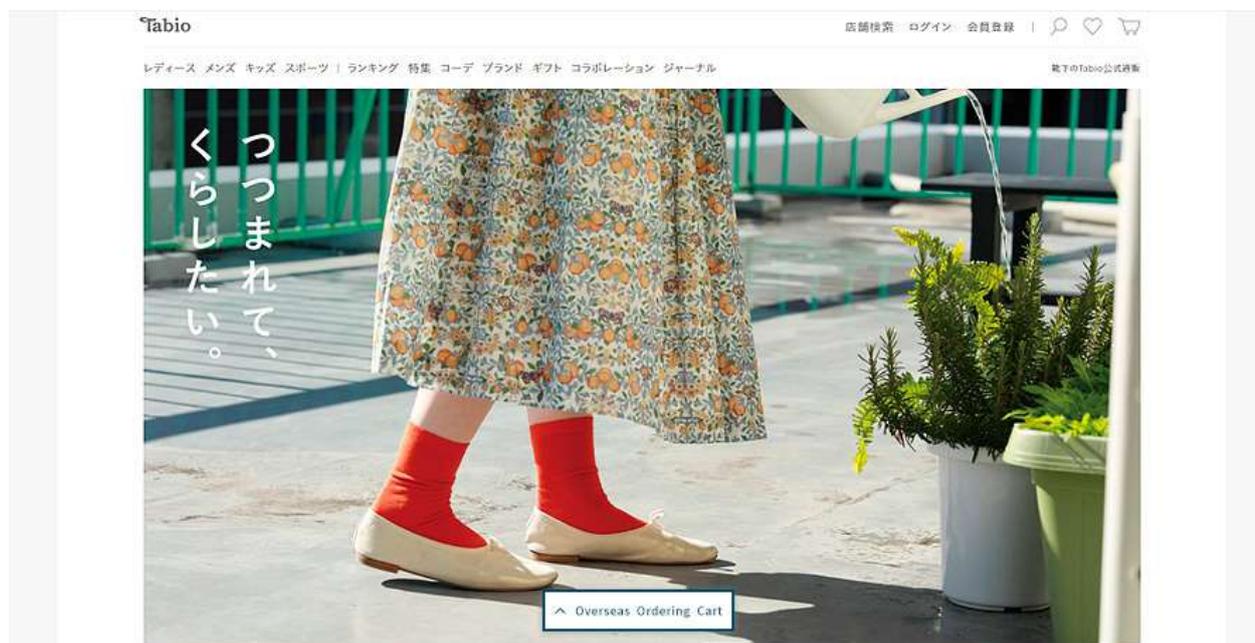
3) 「ダッシュボード機能」を試験導入いただいた企業様のコメント

タビオ株式会社 様

メインターゲット国以外でも購入されている国がわかる、購入単価が想定と異なっているなど、従来は見えていなかった海外での商品需要を具体的に掴むことができました。注力エリアが明確になり、海外向けプロモーションの実施に踏み切りました。今まではアクセスはあったが、購入に至っていなかったお客様が購入してくれるようになったことが数値でもわかり、データを元に設計したプロモーションの効果を実感しています。

「Buyee Connect」を導入いただいている「靴下屋公式通販 Tabio オンラインストア」

URL: <https://tabio.com/jp/>



※越境 EC 導入後のインタビュー: https://beecruise.co.jp/case/case_006.html

4) Buyee Connect サービス内容

「Buyee Connect」は、タグ設置のみで自社 EC サイト上に海外専用カートを開示することができる海外向けの購入サポートサービスで、従来の「Buyee」よりも手軽に海外対応が可能です。本連携により、海外のお客様が連携サイトにアクセスした際にサイト上に海外専用カートが表示され、お客様は海外専用カート上の表示言語を、日本語・英語・中国語(繁体字・簡体字)・インドネシア語・タイ語・韓国語・スペイン語・ドイツ語・ロシア語から選択することができます。商品選定後、海外専用カートで注文へ進むボタンを押すと、Buyee 上で決済手続きができ、海外では主流の PayPal、Alipay、銀聯クレジットカードといった決済方法も利用することができます。さらに、Buyee が海外発送手続きや多言語でのお客様のお問合せサポートなどを行います。これにより、海外のお客様は日本の EC サイト上で商品を選定できるようになるほか、日本の EC サイト事業者様の商品登録の手間を軽減し、より簡易に海外対応を実現します。

「Buyee」は、330 万人以上(※3)の会員数を抱えリピーターも多いサービスです。アメリカや中国、台湾エリア等に向けた独自物流構築による安価な国際配送料、一律 300 円/オーダー毎の明朗かつ割安な手数料で、海外のお客様が少ない負担で日本の商品を購入いただける仕組みを提供しています。また「Buyee」では、越境 EC にチャレンジする企業様をサポートするキャンペーンを定期的に開催し、日本の企業の越境 EC での流通拡大に貢献できるように努めています。

【越境 EC 支援サービス「Buyee Connect」導入による、越境 EC 展開のイメージ】



■Buyee が提供する海外販売のサポート内容

- ◆タグ設置のみで、自社 EC サイト上に多言語海外専用カートを開設
- ◆データフィード連携、商品登録の必要なし
- ◆多様な決済手段に対応…Paypal、Alipay、銀聯クレジットカード等各種クレジットカード、台湾向けに AFTEE
- ◆豊富な配送手段に対応…DHL・EMS・SAL 便・FedEx・国際小包・船便など
- ◆独自の保障サービス…Buyee 独自の検品・配送補償を提供
- ◆不正決済防止…EC サイト事業者様側には不正決済のリスクがない、Buyee による購入サポート

■Buyee Connect が定期的に関催する、企業様支援キャンペーン

「Buyee Connect」では、海外のお客様の国際配送料を無料にするなど、越境 EC にチャレンジする企業様をサポートするキャンペーンを定期的に関催しており、日本の企業の越境 EC での流通拡大に貢献できるように努めています。

<キャンペーン実績>

- ◆「アパレル・ライフスタイル企業応援 Buyee キャンペーン開催」

https://beenos.com/news-center/detail/20210712_bcr_pr/

- ◆「エンタメ・アパレル企業応援 Buyee キャンペーン開催」

https://beenos.com/news-center/detail/20210628_bcr_pr/

■Buyee Connect 導入をお考えの方のお問合せ先

BeeCruise 株式会社 (営業窓口・BEENOS グループ)

<https://beecruise.co.jp/infra/buyeeconnect/>

[越境 EC に関するお役立ち情報の無料ダウンロード]

<https://marketing.beecruise.co.jp/documents>

<日本企業の海外販売を支援する「Buyee」「言語」「決済」「物流」の3つの壁を解消>

Buyee は、日本企業の越境 EC をサポートする購入サービスです。海外販売の障壁となる「言語」「決済」「物流」の問題を解消し、サービス利用料も 0 円から対応可能です。Buyee を導入することで、一括で世界 118 ヶ国/地域に販売できます。さらに、2020 年より新サービス「Buyee Connect」を提供開始し、タグ設置のみで自社の EC サイト上に海外専用カートを開設することができ、より手軽に越境 EC がスタートできるようになりました。BEENOS グループは越境 EC 黎明期である 2008 年より海外転送サービスである「転送コム」事業を開始し、海外発送オペレーションやグローバルなカスタマーサポートなど独自のノウハウを培ってまいりました。海外への販売環境の構築に留まらずユーザー獲得や集客支援も提供しており、手厚い海外販売支援が評価され、2,700 以上の国内 EC サイトの海外進出のサポート実績があります。(※3)

なお、海外のお客様からは、配送手段や決済手段が多様であること、アメリカや中国、台湾エリア向けの独自物流構築による国際配送料の安さ、複数のサイトで購入した商品でも同梱できることなど高いサービスレベルが好評で、現在会員数は 330 万人以上に上ります。(※3)さらに、出店企業と公式で連携していること、10 言語に及ぶカスタマー対応など安心のサポート体制で、リピーターも多いサービスです。

(※1) 国内越境 EC 年間流通総額 No.1。

該当サイトにおける海外個人を対象とした日本から海外への年間流通総金額。東京商工リサーチ調べ(2021 年 5 月時点)

https://beenos.com/news-center/detail/20210607_bns_pr/

(※2) 2022 年 03 月 25 日に REPORT OCEAN が発行したレポートより <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000005786.000067400.html>

(※3) 「Buyee」と越境 EC 関連サービス「転送コム」(<https://www.tenso.com/>) を合わせた数字、2021 年 9 月末現在

【tenso 株式会社の概要】

国内ECサイトの海外販路拡大をサポートするtensoは、「転送コム」(海外転送サービス)と「Buyee」(海外向け購入サポートサービス)の2つのサービスを展開しております。「転送コム」はECサイトの代わりに海外発送オペレーション、多言語カスタマーサポートを、「Buyee」ではそれに加えて翻訳、会員の決済サポートを行います。現在までに合計2,700以上のECサイトに導入いただいており、配送対象国は118ヶ国/地域に上ります。海外消費者からは、配送手段、決済手段が多様であることや、複数のサイトで購入した商品でも同梱できることなど、高いサービスレベルが評価され、会員数は330万人以上となりました。

- (1)社名 : tenso 株式会社
- (2)代表者: 代表取締役社長 直井 聖太
- (3)本店所在地 : 東京都品川区北品川四丁目7番 35 号
- (4)設立年月 : 2008 年 7 月
- (5)資本金: 100 百万円

※BEENOS 株式会社(東証プライム:3328)の連結子会社です。